

共通専門基礎科目	協働的医療実践の展開					
看護学科	選択	2単位	講義	平成30年度	後期	3年次
臨床検査学科	必修					
科目名	衛生管理学 Healthcare Management					
担当教員	◎次橋幸男 都築英明					
目的	衛生管理に関する範囲や手法は多岐にわたる。その中でも、特に環境衛生（上下水道、食品衛生、有害物質・化学物質）、産業衛生（労働衛生、職業性疾患、メンタルヘルス）等を含めた公衆衛生領域全般について理解することが目的である。					
目標	医療と関連の深い衛生管理領域を中心に環境保健、地域・母子・学校・老人等の保健、産業衛生、精神保健、保健行政、国際保健等について説明できる。これらの知識を国民の健康および医療の教育・指導に生かすことの大切さ、そして医療専門職がそれにどのように関与できるかについて説明できる。衛生管理全般について正しく理解し、これらの意義について理解することができる。					
他科目との関連	保健統計学、環境検査学実習、環境とくらし、保健医療福祉行政論					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	シンプル衛生公衆衛生学 2017（南江堂）★1回生時の保健統計学教科書（看護学科必修・検査学科選択）である2015年版でも可。					
参考資料	国民国民衛生の動向（厚生統計協会）、標準保健師講座 疫学・保健統計学（医学書院）、バイオサイエンスの統計学（南江堂）					
備考 （受講上注意、事前学習等）						